

# 島根県小学校体育連盟

## —— これまでのあゆみ

戦後昭和22年の学制改革当時より、学校体育の振興充実について、学校現場ではいち早く研究と実践がなされてきた。県内各地に小学校体育研究会が発足し、学習指導のあり方について研究されるようになり、学習内容や施設設備も逐次充実してきた。

昭和31年ごろから、四国4県において小学校体育の研究が盛んになり、各県持ち回りの研究大会を開催するようになった。こうした先進県では小学校体育連盟を組織し、本県へも参加を呼びかけてきた。このような状況の中で、島根県も組織の統一をするべきであるという機運が高まった。

昭和40年に松江市小学校体育連盟会長であった石倉勇一氏は、『島根県小学校体育研究協議会』を招集し全県各市郡の体育関係者に参加を呼びかけた。そして、松江市立津田小学校にて、『島根県小学校体育研究会』を開催した。その会で、全県組織なるものがようやく芽生えた。こうして、代表者が『中・四国小学校体育連盟』にも正式に参加するようになった。

昭和42年、中・四国小体連総会に出席した島根県小学校体育研究協議会長・早田伊勢松氏は、昭和46年度の第9回中・四国小学校体育研究大会を島根県で開催することを引き受けた。

第9回中・四国大会は昭和46年11月5日、松江市立白瀧小学校を会場に約1000人が集い、授業公開、全校活動公開をもとに、講師・野沢要助氏の講演を聞き盛大な会となった。

この研究をもって実質『島根県小学校体育連盟』の発足となった。翌昭和47年に、県小体連組織も会則とともに発足し、各市郡の組織も整った。こうして、今までの歩みの中に会長・理事長・理事等役員の変替はあったものの、『県小体連』は県内の小学校体育の振興をはかるといった目的達成とそれに係る事業活動の推進に大きく貢献し充実発展してきた。

## —— 現在の状況

現在、島根県小学校体育連盟は、小学校体育の振興と『わかる・できる』を大切にした体育授業の充実を目指し、活動を実施している。

活動の中核を担う専門部の活動について、以下に紹介する。

### ○研究部

統一された研究主題のもと、市郡ごとに研究する領域を分担し、島根県一丸となって、研究と授業実践を行う旗振り役として活動を行っている。研究の概要と仮説検証に向けた活動について、県内への周知を図るとともに各市郡の研究協議会に参加をしたり、オンライン会議を実施して広く意見を募ったりするなど、研究推進に努めている。

### ○事業部

小学校体育の授業力向上を目指して、毎年夏季研修会を実施している。専門性を追究したいと考える教師や日々の体育授業に悩む教師たちが一緒になって学ぶことができるよう体験型の講座にしたり、参会者同士が意見交換をしやすい研修にしたりするなど、その時代のニーズを捉えた研修になるよう研修会の企画、運営に努めている。

### ○編集部

県の研究概要や各市郡で実施した授業研修会等についての周知ができるように、島根県小学校体育連盟のホームページを管理・運用を行っている。加えて、県内で行われた体育授業について、その授業実践を編集部が集約し、データベース化を図っている。また、中・四国小学校体育連盟が執筆協力をしている『わたしたちの体育』の編集作業にも携わり、紙面の執筆や授業に役立つ動画の制作を行っている。



夏季研修会 実技研修（器械運動）



夏季研修会 実技研修（ボール運動）

## —— これから

令和7年度には、第63回中・四国小学校体育研究大会（出雲大会）を実施する。その大会に向けて、会場校を核として、県内が一丸となって研究を進めているところである。

今後、社会の変化に伴い、その時代ごとに学校教育に求められるものが日々変化していくと思われる。これからも、時代の変化に対応しつつ、諸先輩方の思いを受け継ぎ、小学校体育の振興と『わかる・できる』を大切にした体育授業の充実を目指し、活動を行う組織でありたいと考えている。